

「新三本の矢」どこか変だ

朝日新聞 9月26日夕刊「夕歩道」に読んだ。いつもは通り過ぎしてしまう。今日はなぜか「夕歩道」に立ち止まった。

ある朝目覚めてみると、ぼくは有名になっていた。英国の詩人バイロン。詩が売れず、海外をさまよった。帰国して書いた自叙伝がなぜか大ヒット。朝の景色もまったく違って見えただろうな。

ある朝目覚めると、米国と一緒に戦争ができる国になっていた。何となく、朝の景色が、世界が違って見える。為政者の言葉が、自動的に変換される。空耳かしら。だとすれば、いいのだけれど。

新三本の矢をひもとけば、強い経済は「富国強兵」、子育て支援は「産めよ増やせよ」……。そして一億総活躍社会は「進め一億火の玉だ」。まだ、夢の中ならいいのだが、本当にいいのだけれど。

「夕歩道」に立ち止まった後、こんな記事に出会った。朝日新聞 9月30日社会面だ。

菅義偉官房長官は29日、フジテレビの情報番組で、歌手で俳優の福山雅治さんと俳優の吹石一恵さんの結婚について「この結婚を機に、ママさんたちが一緒に子どもを産みたいとか、そういう形で国家に貢献してくれたらいいなと思っています。たくさん産んで下さい」と発言した。

菅氏は、番組後にあった同日の記者会見で発言の真意を問われ、「結婚について聞かれたので、大変人気の高いビッグカップルで、皆さんが幸せな気分になってくれればいいと思っている中での発言だった」と説明した。

「『産めよ増やせよ』との政策を連想する人もいる」との質問には、「全く当たらない」と反論。「安倍晋三首相も、不妊治療を受ける方を応援する趣旨の発言をされている」と述べ、不妊治療の支援策などに取り組む政府の姿勢を強調した。

そう言えば、第1次安倍内閣の時に柳沢厚生労働相が、女性のことを「(子どもを)産む機械」などと発言して、大きな批判を浴びたことがあった。安保法「成立」後の今回の菅発言は、「アベ政治」を象徴するものとして注目していきたい。

(2015年10月4日)



菅氏「ママたちが子を産み、国家に貢献して」